

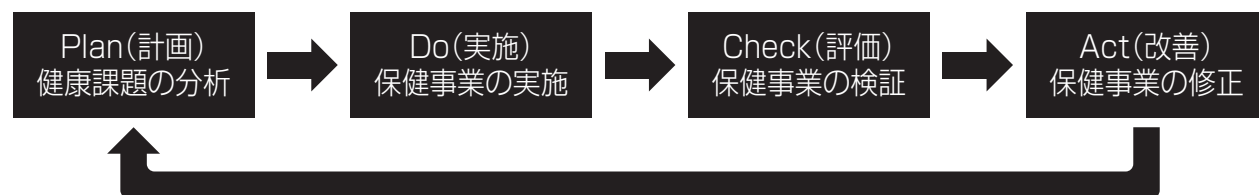
## 健康保持の増進を図る新たな取り組み —第2期データヘルス計画を策定しました—

近年、健康保持増進のための計画の作成、公表、事業実施、評価等の取り組みを行うことを推進することとされています。当広域連合では、第1期データヘルス計画（平成27-29年）の実績や評価を基に、第2期データヘルス計画を定めました。糖尿病など生活習慣病の発症や重症化予防をはじめ、被保険者の健康増進を図ることを目的としています。

特定健診や特定保健指導の具体的な実施方法である第3期特定健康診査等実施計画は、第2期データヘルス計画と一体的に策定しています。今回は第2期データヘルス計画の概要を簡単にご紹介します。

### データヘルスとは

健診、医療、介護情報を活用し、PDCA（計画—実施—評価—改善）サイクルに沿って保健事業を行うことです。



### 第1期計画の評価と考察

第1期計画では、長期入院や高額医療などに移行しないよう重症化予防に力を入れ、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症などの新規発症率を減らして医療費の伸びを抑えていくことを目標としてきました。入院一人当たり医療費の伸びは減少傾向となりましたが、長期的な視点で見ることが必要であり、引き続き取り組みを進める必要があります。

特定健診受診率（表1）は年々上昇していますが、血糖や血圧などが高値の方の割合は東川、美瑛、東神楽町の3町とも増加しており、健診未受診者の中に潜在していると考えられます。

特定健診の受診率と目標値 (表1、%)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
実績	39.3	42.0	45.6	46.8	—
目標値	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0

### 目的、目標の設定

第1期に引き続いて虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症などの新規患者数を減らし、入院一人当たりの医療費の伸びを国並みにすることを目標とします。また、特定健診受診率の目標値（表1）は最終年度までに国が定める目標値である60%としています。

### 第2期データヘルス計画の期間

平成30年から6年間とし、最終年度となる同35年度に目的、目標達成の評価を行います。データヘルス計画の推進と、健診、健康相談が自覚症状のない生活習慣病の予防、健康の保持増進になり、ひいては医療費の適正化にもつながります。

計画は、町のホームページで公表しています。

お問い合わせ 大雪地区広域連合国民健康保険対策室 ☎(直)82-3697

## 30年度大雪地区広域連合予算は 総額約89億4千万円に

大雪地区広域連合（東川、美瑛、東神楽の3町一部保険事務組合）の30年度一般会計と介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療の3特別会計予算は、総額約89億4千万円に決定しました。

3月22日、第1回大雪地区広域連合議会が美瑛町議会議場で開かれ、住民福祉の視点と事務の効率化の2点を基調とする新年度予算、一般会計、特別会計を合わせて総額89億3,672万円（特別会計繰出金を除く実質77億3,881万円）が可決、成立しました。（表1参照）

### 【一般会計】

議会費、派遣職員等の人件費、一般管理経費、障害支援区分審査会経費、監査委員費からなっています。

### 【介護保険特別会計】

大きく3つに分かれおり、認定調査など一般管理経費、介護認定審査会経費、保険給付費による会計からなっています。

要介護認定は、毎週1回の審査会（委員20人）を開いています。高齢者の皆さまが住み慣れている地域で安心して暮らし続けられるよう、今後とも介護予防と日常生活支援総合事業を推進していきます。

介護保険料は、平成30-32年度を一期とする第7期介護保険事業計画（第5段階である標準的な年額保険料は7万2,900円（月額6,077円）の1年目となります。

### 【国民健康保険特別会計】

本年度から北海道が財政主体となり道内全体で国保を支える新制度の予算となります。そのため国保事業納付金等を計上しております。引き続き医療費適正化特別対策事業、収納率向上対策特別事業、特定健診および特定保健指導を実施していきます。

3月の当初予算では所得申告が終わったばかりであるため、保険料は具体的な計算をまだ行えない状況です。申請、届け出、被保険者証の交付、保険料の賦課徴収等は、今まで通り大雪地区広域連合と構成町窓口で行います。

### 【後期高齢者医療特別会計】

主な運営は北海道後期高齢者医療広域連合が行っています。その運営に関する必要見込み額を計上しています。制度を円滑に実施するため、関係機関と連携を図りながら進めていきます。

申請や被保険者証の交付、保険料の徴収事務は大雪地区広域連合で行います。

### 30年度大雪地区広域連合予算

(表1)

会計区分	予算額	前年対比	うち東川町負担額
一般会計	12億8,494万円	103.8%	2,707万円
介護保険特別会計	31億6,799万円	102.9%	1億2,430万円
国民健康保険特別会計	36億1,311万円	86.3%	8,845万円
後期高齢者医療特別会計	8億7,068万円	108.1%	1億4,619万円
合計	89億3,672万円	96.1%	3億8,601万円

お問い合わせ 大雪地区広域連合事務局 ☎(直)82-3697